

広域的な流域管理に関するシンポジウムの開催について

平成 28 年 12 月 22 日
本部事務局 地方分権対策課

1 開催目的

流域関連分野において各方面で活躍する有識者を招き、それぞれの知見を持ち寄り、ディスカッションを通じて、琵琶湖・淀川流域において関西広域連合が優先して取り組んでいくべき具体的な課題を絞り込んでいく。あわせて、琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会報告書への理解を深めていく。

(検討課題の絞り込み例)

- ①水害リスク分布に基づく広域的な相互扶助制度(リスクファイナンス)の実現可能性
- ②便益の帰着構造に基づく広域的な水源保全制度の実現可能性
- ③大阪湾漂着ごみ削減のための広域的な発生源抑制の枠組みの実現可能性

2 日時・場所

【日時】平成 29 年 2 月 27 日(月) 午後 1 時～5 時 15 分

【場所】大阪国際会議場 12 階 1202 会議室

3 プログラム(案)

(1) 開会あいさつ

中川 博次 京都大学名誉教授, 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 座長

(2) 基調講演 「日本文明と関西とエネルギー」(仮題)

竹村公太郎 元国土交通省河川局長,
特定非営利活動法人 日本水フォーラム代表理事
公益財団法人 リバーフロント研究所 研究参与

(3) 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 報告書 概要説明

(4) パネルディスカッション — “今、優先して取り組む課題を考える”

(モデレーター) 中村 正久 滋賀大学 環境総合研究センター 特別招聘教授
琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 副座長

(アドバイザー) 竹村公太郎 元国土交通省河川局長,
特定非営利活動法人 日本水フォーラム代表理事
公益財団法人 リバーフロント研究所 研究参与

(パネリスト (五十音順))

小林健一郎	水文学	神戸大学工学部市民工学科 准教授
佐藤 祐一	環境システム	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員
田中 賢治	水文学	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授
原田 禎夫	環境経済学	大阪商業大学経済学部 准教授
三橋 弘宗	河川生態学	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 講師
山本佳世子	情報システム	電気通信大学大学院 情報理工学研究科 准教授

地域の個性を活かす“流域ガバナンス”

関西広域連合は、流域のために何ができるんやろう??

気候変動や人口減少、私たちが暮らす琵琶湖・淀川流域にも次々と新しい課題が明らかになってきています。

最近の課題には、府県の範囲を超えた広域的な課題、ひとつの部局では対応できない横断的な課題が多くあります。

これまでの行政の枠組みや制度では、積極的に取り組んで来られなかった『はざまの問題』です。

流域のさまざまな方々と力をあわせて、『はざまの問題』の解決にも取り組んでいきたい。

関西広域連合は、関西の8府県4政令市が参加する設立6年の地方公共団体です。

広域行政の責任主体となることを目指していますが、独自に大きな権限・財源を持つわけではありません。

そんな関西広域連合が、琵琶湖・淀川流域の『はざまの問題』の解決にどのように貢献できるのか、考えていきたいと思えます。

日時 平成29年 **2月27日** (月) 13:00~17:15

会場 大阪府立国際会議場 12階 1202会議室
(大阪市北区中之島5-3-51)



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

基調講演 「日本文明と関西とエネルギー」

竹村 公太郎 さん 元国土交通省河川局長, NPO 法人日本水フォーラム代表理事, (公財)リバーフロント研究所研究参与

パネルディスカッション 「今、優先して取り組む課題を考える」 - 研究をどう政策に活かせるか

進行

中村 正久 さん

滋賀大学環境総合研究センター 特別招聘教授
琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 副座長

アドバイザー

竹村 公太郎 さん

元国土交通省河川局長
NPO 法人 日本水フォーラム代表理事
公益財団法人 リバーフロント研究所 研究参与

パネリスト

小林 健一郎 さん

神戸大学都市安全研究センター 准教授

田中 賢治 さん

京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授

三橋 弘宗 さん

兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 講師

佐藤 祐一 さん

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員

原田 禎夫 さん

大阪商業大学経済学部 准教授
NPO 法人 プロジェクト保津川 代表理事

山本 佳世子 さん

電気通信大学大学院 情報理工学研究所 准教授

主催 関西広域連合

シンポジウム 参加申込書

ふりがな 氏名		
団体名		
住所		
連絡先	Tel:	Email:

※ ご記入いただいた情報は、本シンポジウムの実施以外の目的には一切利用いたしません。

申込方法

参加希望の方は、上記申込書に記入のうえ FAX にてお申込みいただくか、同じ項目をご記入いただいた電子メールにてお申込みください。

申込締切

平成 29 年（2017 年）2 月 24 日（金）17:00

※ 定員になり次第締め切ります。その場合にはご連絡させていただきますので、ご了承ください。

申込宛先

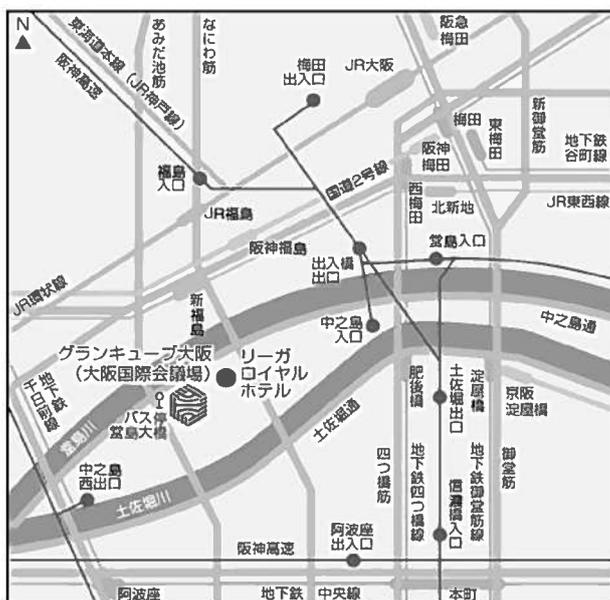
関西広域連合 本部事務局 地方分権対策課（問い合わせ Tel: 06-4803-5674）

Fax: 06-6445-8540 Email: biwako-yodogawa@kouiki-kansai.jp

プログラム

- | | | |
|-------------|--------------------------------|---|
| 13:00~13:05 | 開会挨拶 | 中川 博次 京都大学名誉教授 / 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 座長 |
| 13:05~14:35 | 基調講演「日本文明と関西とエネルギー」 | 竹村 公太郎 元国土交通省河川局長 |
| 14:35~15:05 | 研究報告「地域の個性を活かした流域ガバナンスの実現に向けて」 | 関西広域連合 本部事務局 |
| 15:05~15:15 | （休憩） | |
| 15:15~17:10 | パネルディスカッション | 進行 中村 正久 滋賀大学環境総合研究センター 特別招聘教授
「今、優先して取り組む課題を考える」 / 琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 副座長 |
| 17:10~17:15 | 閉会挨拶 | 嘉田 由紀子 びわ湖成蹊スポーツ大学 学長/琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会 顧問 |

大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪） アクセス



所在地

〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51

電車でお越しの場合

- ・ 京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」（2番出口）すぐ
- ・ JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- ・ JR東武線「新福島駅」（3番出口）から徒歩約10分
- ・ 阪神本線「福島駅」（3番出口）から徒歩約10分
- ・ 大阪市営地下鉄「阿波座駅」（中央線1号出口・千日前線9号出口）から徒歩約15分

※ シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行されており、ご利用いただけます（定員28名）

※ お車でご来場された場合は、1時間あたり500円の駐車料金が別途かかります。